



6月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第451号



中 田 小

平成30年5月31日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



## よろしくおねがいたします

副校長 鎌田 健二郎

大型連休前には真夏を思わせるような日々が続いていたのに、明けてみたら肌寒い日々が続くなど寒暖差の激しい5月となりました。ようやく落ち着いてきたと思ったら、もう梅雨を迎えようとしています。保護者、そして、地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。

このたび、保土ヶ谷区（以前は保土「ヶ」谷区と表記されていましたが、元々は大きい「ヶ」が正しいとのことで、近頃は公的にはこう表記することになっています。JRの駅名もいつの間にか小さい「ヶ」から大きい「ヶ」に変わっていました。）瀬戸ヶ谷小学校から転任してきました副校長の鎌田健二郎と申します。

2か月遅れの自己紹介となりますが、生まれも育ちも横浜の鶴見というところで、現在は鶴ヶ峰に住んでいます。今思い返すと、音楽はそれほど素晴らしい成績ではなかったと思うのですが、小学校6年生の時に市小学校児童音楽会にバス・アコーディオンで出演する機会をいただきました。その後、中学・高校と吹奏楽部に所属して、そこでトロンボーンという楽器と出会いました。大学時代は、部活動には所属はしないで、人数が足りないという時だけ演奏に参加（エキストラ出演、略して「トラ」などと呼ぶのですが。）していたのですが、ちょうど大学を卒業し横浜市に教員として就職した年に、高校の吹奏楽部で結成した一般市民吹奏楽団に参加することとなり、以来そこで35年間演奏活動を続けています。毎週一回土曜日の夜に、年齢や職業を越えて吹奏楽を愛する仲間と一緒に演奏するのが、自分にとっては大きなりフレッシュとなっています。前任校の前は、一昨年3月まで泉区の中和田小学校に2年間勤務していましたので、地域の方の中には以前よりお知り合いとなっている方もいて大変心強かったです。

さて、自分のことはこれくらいにして……。前任校は全校児童数が500名程度でしたので、まずは着任式で中田小学校の児童数の多さに圧倒されてしまいました。しかし、着任式から引き続いておこなわれた始業式でも、児童は台上の先生にきちんと挨拶をし、また、話を聞くときには集中して話を聞くことができている、その立派な態度に驚かされました。

一方、年度のはじめだけでなく、年間を通して児童の登校の見守りや集団登校への付き添いをしっかりとおこなってくださっていることを知り、感謝するとともに大変誇らしくも思いました。また、早くも始まった新年度のPTAの各委員会の活動に一生懸命取り組んでくださっている方々の様子を身近で見て、大変ありがたく思います。そうした、保護者の方の真摯な姿勢を見ることで、児童たちは真っすぐ素直に成長をしているのだということを実感した次第です。

さらに、本校の大きな特色ともいえるマーチングバンドの活動にも深い理解を示し、また、様々な活動や行事で地域の子供たちとして本校の児童を大切に見守り育ててくださっている地域の方々の存在もこの2ヶ月の間で知ることができました。

本当に、中田小学校は保護者・地域の皆様の温かい支援に包まれた学校であることを知り、そこで自分の果たすべき役割を実感する今日この頃です。慣れないことも多いのですが、前任の今野副校長に引き続き、何卒ご理解とご協力をよろしくおねがいいたします。